

平成28年度 第4回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 平成28年9月20日(火) 15:00~17:00
- 2 開催場所 小平市中央公民館 会議室
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 13名
事務局 中央公民館長、館長補佐兼事業担当係長、管理担当係長、
分館担当係長 8名
- 4 傍聴者 1名
- 5 配布資料 (1) 平成28年度小平市公民館定期講座実施状況表・・・資料1
(2) 東京都公民館連絡協議会 職員部会 報告・・・資料2
(3) 東京都公民館連絡協議会 委員部会 報告・・・資料3
(4) 夏休み学習室開放結果集計表・・・資料4
(5) 平成28年度第3回小平市公民館運営審議会会議要録・・・資料5
平成27年度公民館事業概要
小平市の教育 平成28年度
- 6 次第 (1) 館長報告
(2) 公民館定期講座実施状況について
(3) 公民館事業企画委員会等の開催報告について
(4) 東京都公民館連絡協議会 職員部会・委員部会報告について
(5) 第57回関東甲信越静公民館研究大会及び東京都公民館連絡協議会委員
部会研修についての報告
(6) 公共施設マネジメントの取組について
(7) その他

会議の概要

1 館長報告

(1) 9月市議会定例会(9/6~9/30)について

① 教育委員の任命について

森井教育委員長並びに、関口教育長の任期満了に伴い、森井委員の再任、新たに公民館運営審議会委員の小平第六小学校長 古川正之氏の教育長任命について、市議会

の同意が得られたことから、古川委員は本審議会委員を今月末で辞任することとなった。

② 公民館に関連する一般質問について

- ・「障がい者や高齢者にやさしいまちづくりを」（幸田 昌之議員）

公共施設のトイレの洋式化率について

（答弁）公民館では、53.4パーセントが洋式化している。

- ・「市は磁気ループの貸出システムを確立し、聞こえのバリアフリーを広めてください」

（吉瀬 恵美子議員）

仲町公民館備品の磁気ループについて

（答弁）磁気ループ導入時からの利用状況について、昨年度は17件、本年度は、現在のところ、4件である。また、公民館以外の施設での利用について、磁気ループは高額な精密機器であり、重量もあるので、機材の取扱や運搬方法など調整をしている。

- ・「育児する父親のためにも日常的なことから改善を」（竹井 ようこ議員）

・公共施設における、男性用トイレのおむつ替え設備及び男性が気兼ねなく利用できるおむつ替え設備について

（答弁）庁舎、公民館及び地域センターでは、男性用トイレにはないが、だれでもトイレや廊下などに、おむつ替えベビーベッドなどを設置している。

- ・男性用トイレに 子ども用便座や個室に乳幼児が座れるいすの備えについて

（答弁）中央、仲町、津田及び鈴木公民館のだれでもトイレに 乳幼児が座れるいすを設置している。

- ・粉ミルクのお湯の提供について

（答弁）庁舎、公民館及び地域センターでは、給湯器を設置している。

- ・「人権と健康の問題として正しい性の知識を子どもや若者たちへ」（日向 美砂子議員）

直近3年間で購入した性教育用教材について

（答弁）社会教育分野で教材として購入した実績はない。

- ・「青少年音楽、ダンスイベント等をコミュニティーづくりに生かそう」（細谷 正議員）

・音楽、ダンスを練習する防音の施設または楽器の貸出を行っている施設について

（答弁）中央公民館の視聴覚室及び音楽室、分館6館のホールや音楽室などが防音の施設となっている。また、中央公民館ではピアノ及びエレクトーン、分館10館ではピアノを貸し出している。

・小・中・高・大学生が出演している教育委員会の行事について

(答弁) まつりにおいて、小学生のダンスやよさこい、中学生の吹奏楽などの舞台発表を行っている。

③ 補正予算について

小川西町公民館の照明をLED化するための施設修繕料として130万円を増額する補正予算案を図書館費として提出し、審議の結果、全会一致で可決された。

(2) 西部市民センター（小川西町公民館）駐車場の一時利用停止について。

西部市民センター外壁の補修工事に伴い、11月下旬から来年3月にかけて、駐車場の利用を一時中止する。

(3) 視聴覚ライブラリーに係る機材の予約受付開始日の変更について

これまで、貸出日の4か月前の月の最初の開館日としていたが、中央公民館のギャラリー及びホールは、7か月前及び5か月前から部屋の予約が承認されるため、「4か月前の月の最初の開館日、若しくは、部屋の予約承認後」と変更し、利用者の利便性及びサービスの向上の観点から見直しをする。

2 公民館定期講座実施状況について

事務局より資料1について説明した。

(質疑応答)

分館に関して

委員 花小金井南公民館の地域連携講座は防災をテーマにしており、いろいろな意味において充実した内容だと思うが、1回だけではもったいない。今後どのように継続を考えているのか。

分館長 地域的に消防団と調整できたので、今年度はこの1回で終了する。来年度以降も同様の防災をテーマにした講座を実施する場合は、今まで参加していない方にPRしていきたい。

事務局 現在、来年度の事業については各分館と調整しているが、防災に関して、地域の施設と連携が図れるところは、各館の実情を踏まえながら検討していく。

委員 仲町公民館のジュニア講座「楽しみながら学ぶ伝統芸能 糸あやつり人形にチャレンジ！」について、応募者が無しということだが、企画の段階でどう考えていたのか。

分館長 今回、講師として依頼していた団体は、なかまちテラスの開館イベントで人形劇を実演して頂き好評だったこと、仲町公民館の子どもたちにも体験してもらいたいとの団体からの要望から企画し、夏休み前に近隣の小・中学校にチラシの配布をした。しかしながら、対象である子どもたちのニーズに繋がらなくて残念だった。

委員 日程的には、学校行事や青少年団体の予定を考慮したのか。また、チラシも学校を通して配布したのか。

分館長 そのとおり。ただ、最終日に、受講者自身が、糸あやつり人形の実演をするというプログラムであったため、子どもたちには負担感を与えてしまったのかも知れない。

館長 応募者がいなかったため、締切り直前に分館長が直接学校へ出向いたり、青少年向けのサークルに個別に声掛けをしたり、メールで個別に広報をするなど細かく周知はした。親の反応は良かったが、肝心の受講対象である子どもたちと意識の差があった。「日本の伝統文化を知ってもらいたい」という公民館の思いと子どもたちとの視点の違いが出たのではないか。なお、応募者が無かったからこれでやめるというものではなく、今後どうするかを慎重に検討している。

委員 分館で応募がなかったものについては、中央公民館で全市に向けてやってみれば良いと思う。全市の中で興味や関心のある子どもがいれば実施すれば良いし、いなければ実施しなければ良いと思う。今の子どもには、ダンスみたいな活動的な講座が向いていると思う。

委員 仲町公民館のジュニア講座「糸あやつり人形」については残念な結果だったが、講師は地域由来の人形劇の団体ということか。

分館長 一橋学園に事務所のある団体で、以前に鈴木公民館で講座を開催したときは、応募があったと聞いている。

委員 そんなに良い内容なら、懲りずに、まずは参加者が集まりやすい場所で検討してはどうか。

委員 大沼公民館のシニア講座について、定員の3倍の応募があったようだが、抽選に漏れた方にはどう対応されるのか。

分館長 ネーミングが好評で抽選に外れてしまった方が多かったが、その後の対応は今のとこ

ろ考えていない。

中央公民館に関して

委 員 夏休みの学習支援室について、学校でも取り組んでいるが、公民館でも実施していただくことはありがたい。

- 3 公民館事業企画委員会等の開催報告について
事務局より報告した。

(質疑応答)

小川公民館に関して

会 長 鈴木公民館の事業企画委員会は夜間に実施していたが、小川公民館は昼間に開催しているのか。

分 館 長 平日の9時半から11時に開催している。

仲町公民館に関して

事 務 局 なかまちテラスLINKSの全体会は、サークルなどの関係者が集まるのか。

分 館 長 LINKSは図書館職員、公民館職員、地域の方、自治会の方、利用者懇談会の方も参加している。

委 員 仕事をしている人は、平日の夜とか週末でないとなら全体会に参加できない。実際に地域で活動している人やなかまちテラスを利用している人の参加が多いと思うが、これから利用する人への配慮として、時間をずらすことも考えた方がいい。

分 館 長 昨年は、年4回全体会を開催した。時間帯を午前・午後・夜間とし、偏らないよう、どなたでも参加できるようバランスを考えている。

委 員 年4回実施の中で、その回によって変えているということか。

事 務 局 午前・午後・夜間を順番に開催している。

- 4 東京都公民館連絡協議会職員部会・委員部会報告について
事務局及び委員より資料2、3について説明した。

5 第57回関東甲信越静公民館研究大会及び東京都公民館連絡協議会委員部会研修についての報告

会長より、第57回関東甲信越静公民館研究大会の感想については、後日まとめて冊子にする予定である。

松尾委員より第1回研修会についての感想

戦後70年の公民館の歴史を4つに区分し、わかりやすい説明を伺った。まず、戦後から約20年間は、青年団や婦人部が中心となり生活に密着した事業が展開された、いわゆる農村型の公民館が誕生した。その後、高度成長期には各地に公民館の設置が進められ、知識・教養を高める事業が盛んに行われた。それに伴い、趣味のサークルが活発に活動するようになり、地域コミュニティの交流の場としてのいわゆる都市型の公民館へ発展していった。

その後、各自治体では社会教育に対する考え方も様々となり、公民館の体制を見直す地域も現れるなど、なかなか公民館が発展する時期ではなかった。

そして今、高齢化・生活の貧富格差などの社会問題を、地域住民の繋がりが薄れている中で、公民館がどのような役割を果すのかが非常に大事だということであった。

6 公共施設マネジメントの取組について

行政経営課職員より説明した。

(質疑応答)

委員 公共施設適正配置に係る計画については、いつまでにまとめるのか。

行政経営課 12月の終わりくらいにはパブリックコメントを実施する予定である。それまでには、計画の素案をまとめる。

委員 なかまちテラス建設の時は突然市報に出て驚いた。その時と同じ思いはしたくないので、多くの利用者の声が届く機会を作ってほしい。

委員 公共施設のことをみんなで学び合ってつくりあげる場として、公民館がなればいい。館長と施設関係の課と連携して学びの場を作ってほしい。

施設の複合化を進めるのであれば、公民館については、利用者に高齢者が多いことから、地域センター・学校などが考えられる。公民館運営審議会と密に連絡を取って、公民館をより高い機能で役立てるような複合化のあり方を検討してほしい。

委員 建物の複合化で問題になるのは、行政の縦割りで、組織として一緒にならないと複合化は難しいと思うが、構想ではどうなっているのか。

行政経営課 組織自体を一緒にすることはできないと思う。ただし、今年度から公共施設マネジメント推進本部を開催し、庁内において情報共有や連携を図っている。

7 その他

- (1) 夏休み学習室開催報告について
事務局より資料4について説明した。

(質疑応答)

委員 学習室は小・中学生対象だったと思うが。大人が利用しているところを見たが、そのところはどうなっているのか。

事務局 対象は、原則小・中学生、高校生、大学受験勉強までとしているが、一般の方にも開放している。

委員 利用しているのは、大人の方が多かったと思うが、それでは入るのをためらう子どももいるのではないかと思った。

- (2) 公民館運営審議会研修会（講演会）について
会長より説明した。

次回は、12月20日（火）午前10時より、中央公民館会議室にて開催する。